



令和6年2月

No. 123

こんにちは 豊前市議会です



【11月7日 山田公民館】



【11月8日 総合福祉センター】



【11月9日 岩屋公民館】



【11月11日 市役所大会議室】

CONTENTS 目次

12月定例会(11/28～12/15) 主な内容

議案の概要・特別委員会の経過報告	2～3P
令和5年12月定例会議案審議結果	4P
議会報告会・その他	5P
一般質問	6～9P
トピックス・編集後記	10P

議会へのご意見をお寄せください

発行 / 豊前市議会
豊前市大字吉木955
TEL82-8137 (直通)

ホームページ/
<https://www.city.buzen.lg.jp>



令和5年第4回定例会は、11月28日から12月15日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より、条例案件5件、指定管理者の指定2件、補正予算6件の合計13件が提出されました。

それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決されました。

なお、議案第49号、議案第51号、議案第55号について反対討論がありました。



豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会の経過報告

特別委員会は、豊前市が出資している第3セクター「豊前開発環境エネルギー株式会社」役員が有印文書偽造により逮捕された事件について、会社の事業内容や事件発生の経緯を調査するものです。委員会の内容は、以下のとおりです。

第10回(12月15日開催)

執行部より、前回からの経緯及び新たに入手した第8期(令和3年度)の決算資料の説明を受けました。また、説明員として豊前市が簡易調査を委任した弁護士が出席しており、法的手続きに関して意見交換が行われ、今後、法的手続きを進めることで意見が一致しました。

そのため、12月22日市長宛に文書にて、申し入れを行いました。なお、申し入れの内容は、以下のとおりです。

「申し入れ事項」

当特別委員会より、豊前開発環境エネルギー株式会社に対し、同社役員による有印公文書偽造などについて、再三にわたり説明、資料提出等を要請してきたが、誠実な対応が全くなされていない。また、事件発覚から2年が経過したにもかかわらず、同社の出資者である市への対応も、到底納得できるものではない。

今後、法的手続きを進めるに当たり、本日の当特別委員会において、市が簡易調査を委任している弁護士からも、市が訴えられることはないであろうとの意見をいただいている。

よって、市民への説明責任を果たすため、当特別委員会は市に対し、早急に法的手続きを進めるよう強く求める。

豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会 ◎…委員長 ○…副委員長
◎尾澤満治○平田精一・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一・郡司掛八千代・岡本清靖

総務委員会申し入れ事項

◎市が徴収する税・使用料等については、口座振替推進のほか、多様な支払方法を検討すること。また、様々な手段を通じて、納期限の周知を積極的に行い、収納率向上に努めること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・岡本清靖
文教厚生委員会	◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治
産業建設委員会	◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・郡司掛八千代
予算決算委員会	◎福井昌文○村上勝二・為藤直美・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代 ・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖
議会運営委員会	◎岡本清靖○為藤直美・梅丸晃・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二

《令和5年度一般会計補正予算の概要》

12月定例会では、11月28日、12月13日及び12月15日の予算決算委員会で「令和5年度一般会計補正予算」の審査を行いました。委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第51号】 令和5年度豊前市一般会計補正予算(第4号)

特に措置する必要がある経費について、可決しました。

◇人事院勧告による増額、異動等による組替え 25,451千円

【議案第58号】 令和5年度豊前市一般会計補正予算(第5号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に設置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇ふるさと納税事業	68,000千円
◇戸籍住民基本台帳費	20,422千円
◇母子家庭等対策総合支援事業	1,770千円
◇老朽危険家屋等除去促進事業補助金	1,500千円
◇豊前広域環境施設組合費清算金	32,512千円
◇観光客受入環境整備事業	1,477千円
◇道路補修費	4,200千円
◇学校管理費(小学校)	3,213千円
◇学校管理費(中学校)	1,615千円

【議案第59号】 令和5年度豊前市一般会計補正予算(第6号)

国庫補助事業にかかる経費について、可決しました。

◇物価高騰対応重点支援給付金事業 326,250千円

【議案第61号】 令和5年度豊前市一般会計補正予算(第7号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費について、可決しました。

《主な事業》

◇社会福祉施設等物価高騰対策支援給付金(障害福祉施設)	405千円
◇社会福祉施設等物価高騰対策支援給付金(介護施設)	2,688千円
◇保育所等物価高騰対策費補助金	522千円
◇こども応援給付金事業	13,347千円
◇運輸交通事業者等物価高騰対策支援事業	5,111千円
◇宿泊事業者等物価高騰対策支援事業	902千円
◇学校給食費助成金(中学校)	19,803千円

令和5年12月定例会 議案審議結果

「○」…… 賛成 「●」…… 反対
 「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸	村上	為藤	内丸	秋成	郡司掛	黒江	平田	福井	鎌田	岡本	尾澤	賛成	反対
			晃	勝二	直美	伸一	英人	八千代	哲文	精一	昌文	晃二	清靖	満治		
議案第49号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	9	1
議案第50号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	10	0
議案第51号	令和5年度豊前市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	●	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	9	1
議案第52号	令和5年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	10	0
議案第53号	令和5年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	議長	10	0
議案第54号	督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第55号	豊前市観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	10	1
議案第56号	指定管理者の指定について(豊前温泉天狗の湯)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第57号	指定管理者の指定について(豊前市立図書館)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第58号	令和5年度豊前市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第59号	令和5年度豊前市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第60号	豊前市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第61号	令和5年度豊前市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0



議長
尾澤 満治



副議長
郡司掛 八千代

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

開かれた議会を目指して 第9回議会報告会を開催しました!!

日時	場所	参加者	アンケート回収率
11月 7日(火)	山田公民館	25人	68%
11月 8日(水)	総合福祉センター	57人	84%
11月 9日(木)	岩屋公民館	24人	67%
11月11日(土)	市役所大会議室	33人	67%

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについての報告や市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて、意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて、信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で9回目となる報告会では、議会から「災害への備え」・「LINEの豊前市公式アカウント」・「豊前市営駐車場」・「豊前市国民健康保険税条例の一部改正」・「学校再編」・「ZigZagがオープン」・「宇島駅前に新トイレ完成」・「防災・減災対策に向けて」などについて報告し、その後、各地域からの課題や要望についての意見交換を行いました。

また、参加者からのアンケートでは、「市や議会のことを知る良い機会になった」・「新しい試み(土曜日開催)は良かった。日中の開催は参加しやすかった」・「地域の意見をもっと反映してほしい」などその他たくさんのご意見をいただきました。

それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見については、今後の議会活動にいかしていきたいと思えます。

他議会からの視察受入れ報告

豊前市議会では、市の事例を紹介し、それぞれの自治体でいかしてもらえばと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。令和5年の受入れ状況は、以下のとおりです。

R5.1.17	佐賀県基山町	議会運営委員会	8人	議会改革の取組について
R5.1.19	愛媛県伊予市	総務委員会	6人	老朽危険家屋等除却促進事業
R5.1.26	奈良県吉野町	吉野町議会	13人	空き家バンク 老朽危険家屋等除却促進事業
R5.5.17	沖縄県中部地区 町村議会議長会	議長・議会事務局長	12人	地方創生とSDGsの推進に関する 包括連携協定等について
R5.10.31	滋賀県彦根市	市民産業建設常任委員会	10人	老朽危険家屋等除却促進事業
R5.11.14	鹿児島県さつま町	文教経済常任委員会	10人	老朽危険家屋等除却促進事業

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『無会派』の一般質問

【質問項目】

(梅丸晃議員)

① ワンヘルス(二つの健康)

【質問項目】

(為藤直美議員)

① 結婚、子育て支援

② 移住、定住

【質問項目】

(村上勝二議員)

① 豊前市の地方公社と

第三セクター

② 高校卒業までの医療費の

無償化を

③ 学校給食費の無償化の

継続を

④ 人口が増える市政への

転換で、子どもと若者の

未来に希望を示そう

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

ワンヘルス(二つの健康)について



梅丸 晃

梅丸議員 福岡県は全国初となる「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康、環境の健全性を一体的なものとして守り、その活動を次世代に継承するための基本方針を示した。そして、これに基づき「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を策定し、計画に掲げる施策や取組を進めている。豊前市もこのワンヘルスの理念のもと、感染症対策、環境保護、人と動物の共生社会づくり、健康づくりなど福岡県と連携し、市民が安全で安心して暮らせる社会の実現を目指してはと考えるが、いかがか。

市長 世界的にもWHOをはじめ世界の機関が、ワンヘルスの考えを取り入れて対応しているように動いている。また、最近慣れ親しんできた、SDGSの考えもワンヘルスが入ってくると思う。市町村の責務や役割も示されており、市民の健康を守る立場にある市役所として、どうこの条例に基づき活動を推進していくのか。これは市民の安全と安心、健康を守っていく一番の大きなテーマの大元になる。

梅丸議員 県内17の市町、今年に入り吉富町もワンヘルス推進宣言をしている。豊前市も宣言をして、市民への周知や理解の促進、市民と共にワンヘルスの実施や施策を推進していくべきではないかと考えるが、いかがか。

市長 人類だけでなく動物も地球上にいる限り、我々は共生していく仲間だと捉えなければならぬと思う。我々がこれからどう取り組んでいくのか、また、次世代のために何を残せる

のか伝えられるのか、それをワンヘルスの考え方で一致させていく大きな手段だと思ふ。この場を借りて、ワンヘルス推進宣言をする。

梅丸議員 豊前市も宣言したので、スピード感を持って豊前にふさわしい推進をお願いする。ワンヘルスの推進と取組を通じ、人と動物、自然が正しい共生の姿である豊前らしい里山であり続けられるよう、豊前の強みを活かしていただきたい。最後に市長の意気込みを、お聞きしたい。

市長 市民一人一人にワンヘルスの理念を伝えていく、理解していただく、そして実践し推進していく、これが大事だと思う。私たちの宣言したことが豊前市のものになることで、みんなが健康に幸せになっていくと思っている。



人口が増える市政への転換で、子どもと若者の未来に希望を示そう



村上 勝二

入れて、その時代に沿ったかたちでハード面などの施策に取り組むことで、人口の減少幅をいかに小さくしていくかという視点で策定した。

村上議員 今年度からスタートした第6次豊前市総合計画では、豊前市の人口は、今後も減り続けていくことがこの計画、これからの市政運営の大前提になっているが、豊前市総合計画の策定の趣旨とその位置づけ、期間などについて、お聞きする。

総合政策課長 令和5年度から令和14年度までの10年間の市政を進めるための大綱として策定し、この施策に基づいて今後の5年間、10年間を見据えて執行していくことになる。その中で、令和14年度の目標人口を2万1800人という設定をしたが、これは以前行われた人口推計によるものである。国全体も人口減少、少子化という中で豊前市も現実を受け

村上議員 国の施策や設定に合わせて計画を立てたと受け止めたが、全国的に見れば人口が増えていく自治体もある。豊前市は2万人を想定しているが、それに合わせた市政運営を進めていかなければならないことに縛られているのではないか。その発想を転換していかないと変わらぬし、国がそうした方向性を示していること自体に不安で情けない。小中再編計画もそれ自体が縮小で、これを進めている自治体で人口が増えていくような所はない。やはり人口が増えていく自治体はなぜ増えているのかをしっかりと学ぶことが必要で、1人でも2人でも人口を増やす、少なくとも維持していこうという共通意

識を持ってもらいたいと思うが、いかがか。

市長 少子高齢化によって、人口減少が続いていることに悔しい思いをしているが、個人の問題ではなく、社会として考えたときに一つの手法として企業誘致がある。今回、社会人野球チームが豊前市に拠点を構え20人以上の若い人達が移り住む予定であるが、これも企業誘致である。そういう意味で、文化やスポーツによる地域づくりも発想の転換であると思うので、あらゆる手段を使って人口増につながるような、元気に健康で幸せに暮らせる豊前市を目指していきたい。

村上議員 豊前市がより活性化するために、もっと元気にもっと人口が増える道を探求していったほしいし、私も一緒に考えていきたい。

結婚、子育て支援について



為藤 直美

為藤議員 豊前市が行っている新婚家庭への家賃補助について、この政策の内容をお聞きする。

総合政策課長 新婚家庭に対して民間賃貸住宅に居住した場合の家賃助成である。以前は、市単独事業で補助してきたが、令和3年度以降は国の補助事業に沿った内容に変更し、夫婦とも39歳以下で前年度所得が夫婦合算で500万円以下の世帯へ、月額1万円を上限に1年間分を補助している。

為藤議員 以前、補助を受けた後、豊前市に定住した割合が約6割から7割という回答があった。近年の傾向はいかがか。

総合政策課長 補助金を支給した世帯へのアンケート調査では、8割、9割の方々が住んでいる状況である。

為藤議員 家賃補助の支払い方法だが、申請してから翌年4月にまとめて支払うことになっている。本来、月の家賃に充てるための補助で、毎月振り込むべきだと考えるが、いかがか。

総合政策課長 単独で事業を行っていた際、毎月支給だったため、請求書がかなりの件数で事務の煩雑が考えられたと思う。新婚家庭で毎月のやりくりが厳しい状況で、その都度、支給することが望ましいと承知しているが、対象者が市へ毎月請求書を出すことになり少し負担になるかもしれない。その辺りも少し研究して必要であれば改善したいと思う。

為藤議員 新居で暮す時は敷金・礼金も必要になる。新婚家庭への補助であれば、申請して直ぐにまずは3カ月分を支給するなど、対象者の気持ちをしつかりとくみ取り、ありがたいと思える施策につながるような対応をお願いする。

市長 面白いアイデアだと思うので、参考にしたい。

為藤議員 豊前市は第3子以降の保育料無料を実施しているが、出産子育て支援給付金と合わせて少子化対策の充実のため、第3子以降の出産祝金という声を議会報告会でも聞いたが、検討してみてはいかがか。

次に、婚姻届を受付けた際に、メッセージカードや記念写真、豊前市のお米など、気持ちを形で届けられたらどうか。粋な計らいでお祝いし喜びや思いを伝えることができればいいと思うが、いかがか。

市長 面白いアイデアだと思うので、参考にしたい。

為藤議員 豊前市は第3子以降の保育料無料を実施しているが、出産子育て支援給付金と合わせて少子化対策の充実のため、第3子以降の出産祝金という声を議会報告会でも聞いたが、検討してみ

市長 今は第2子へ10万円を支給している。豊前市もこれからは、1人でもたくさん子どもを産めるような制度に、総合的に見直していかなければと思っている。

為藤議員 新婚家庭への家賃補助の件、そして子育て支援への対策を、しっかりと今の時代に見合った対応をお願いする。



一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『平成会』の一般質問



鎌田 晃二



福井 昌文



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一



秋成 英人

【質問項目】

- ① 市役所窓口業務
- ② 市営住宅の管理
- ③ 防災
- ④ 都市計画
- ⑤ 豊前市の財政
- ⑥ 奨学金返還支援制度
- ⑦ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
- ⑧ プレミアム商品券

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です。ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

市役所窓口業務について

内丸議員 現在、市役所各課の窓口で各種申請や手続きを行っているが、仕事の都合や身体的事情で窓口が開いている時間に間に合わない方がいる。また、母子・父子家庭の方なども窓口が開いている時間には仕事を休んで市役所になかなか来られない、という話を聞く。窓口業務の軽減化と市民サービスの一環として、住民票などの一部の証明書が、コンビニで取得することができるようにしたが、取得できる書類の種類や時間帯を伺う。

市民課長 コンビニ交付が利用できる時間帯は、土曜日・日曜日・祝日を含め、朝6時半から23時までとなっている。ただし、年末年始及びシステムメンテナンス日は、利用できない。

内丸議員 勤務時間外の窓口業務は、どのような対応をしているか。

市民課長 市民課では、緊急やむを得ない場合には、相談に応じ、時間外への対応をする場合がある。また、

マイナンバーカードの申請等は、第1、第3金曜日の17時から19時まで、また、月に1回、土曜日もしくは日曜日の朝9時から12時まで開庁しており、日程は市報、市ホームページ及びフリーペーパーで案内している。さらに市民課総合窓口係や税務課課税係及び総務課防災安全係では、年度末の令和6年3月31日の日曜日と年度初めの4月6日土曜日の9時から12時まで、休日開庁を予定している。

内丸議員 多くの職業で利用者のニーズに合わせてソフト勤務を取り入れているが、市役所でも導入を検討できないか。

市民福祉部長 勤務時間が決められ、職員数も限られているため、全体的に時間を延長することについては、困難だと思う。

内丸議員 市の考えとしては、できないという答えだが、市役所もニーズに合わせて対応するべきだと思いが、いかがか。

総務課長 開庁の時間、勤務時間内で、というのが基本である。個別対応、マイナンバーの申請等限られた業務ではあるが、窓口業務の時間延長、年度末等の休日開庁など、市民サービスの向上のため、職員が随時対応している。関係する部署が、それぞれの課題等を持ち寄って市民サービス向上の視点に立ち、共有等を図っていきたい。

内丸議員 この問題について、各課で連携して、市民にも職員にも良い解決方法を考えてほしいと思うが、市長、いかがか。

市長 現在のところニーズに合わせて、個別に対応できていると認識している。働き方改革は、行政の中にも求められており、デジタル化も含めて、今後対応していかなければならない時代がきていると思うので、内部でも検討しているところである。

内丸議員 窓口を利用する市民のことを考えて、今後もしっかりとした対応を取っていただきたい。



都市計画と豊前市の財政について

福井議員 第6次豊前市

総合計画が策定され、本年度より豊前市の新たなまちづくりの取り組みがスタートした。まちづくりを行う上で、都市計画道路の整備が重要であると思うが、どこを優先的に整備したいと考えているのか。

産業建設部長 宇島久路
土線を考えている。

福井議員 この辺は学校再編により2つの小学校と1つの中学校が整備される。通勤にも便利な場所であり、企業誘致や商業誘致、子育て世代の定住促進などによるフロー効果も期待できる。しかし、大きな事業費であるため、県事業として採択されるよう、ぜひお願いしたいと思う。都市計画は、優先順位を付け、着実に進めていかなければ市が発展しないと私は思う。市民が快適に暮らせる、また誇りを持てるまちづくりを進めていただくよう切に願う。

次に、昨今の厳しい財政状況の中、豊前市も市政運営に大変苦勞している

と思う。総合計画策定の趣旨

に、財政の健全性の確保がうたわれており、歳入の確保、歳出の抑制が肝要であり、歳入については、交付金・補助金等の活用や税収の増が有効だと考える。小中学校の再編もあるが、築上町は、小中一貫校の建設にモデル事業の補助金等が充てられるようだ。市の負担を軽減できるよう努力してほしい。税収の増に向けては、企業誘致が有効な手立てと考える。さらなる企業誘致への取り組みについて、市長に聞きたい。

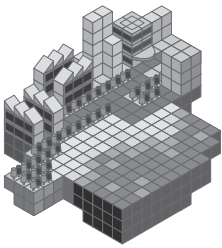
市長 インターチェンジの活用など、本市の持つ力をPRし、企業誘致に取り組みんでいきたい。

福井議員 先日、国はデジタル完全脱却のための総合経済対策の裏付けとなる2023年度補正予算を設立させた。物価高対策として、低所得世帯への給付と地方自治体が地域の実情に応じた施策を実行する財源となる重点支援地方交付金を計上した。豊前

市の実情にあった事業を促進してもらいたい。また、物価高対策とは別に、持続的賃上げと地方の成長、成長力強化、国内投資促進、人口減少対策、国民の安全・安心確保があがっている。豊前市も該当すると思うので公共事業等に活用してもらいたい。それと人口減少対策や地域公共交通の確保、維持改善に向けた事業についても、国に要望してほしいと思うが、いかがか。

市長 しっかりと職員と共に豊前市を元気づける方向にもつていきたいと思う。

福井議員 財政の厳しい状況が続いており、交付金・補助金は命綱である。我々も一緒に知恵を出し、職員の皆さんと一丸となってやっていきたいと思っているので、より一層の努力をお願いする。



奨学金返還支援制度について

鎌田議員 公明党は学び

たい人が進学を諦めることのない社会を目指して、奨学金制度の充実や返済不要の給付型奨学金を実現してきた。しかし、奨学金は卒業後の返済の負担が重く、若者はそのことで悩みを抱えているのが現状である。奨学金返還支援制度は、公明党が政策提言した制度で、自治体や企業が奨学金の返還を肩代わりするものであり、全国に広がっているが、自治体によって推進度が様々である。地方創生の観点からも、若者の地方定着を促すこの制度を本市でも実施することが必要であると考えている。

田市・筑後市・直方市・吉富町もしているようであるが、吉富町の制度はどのようなものか教えてほしい。

生涯学習課長 人材の確保と移住・定住を目的に、令和3年度から町内に居住し近隣市町の事業所で働いている方に対して、その年度内に返還すべき金額の2分の1について、初年度から3年度は上限10万円、4年度から10年度は上限5万円を支援するものである。

鎌田議員 各自治体の奨学金返還支援制度の内容は様々である。体力にあつた形で本市も我がまちに住んでくれる若者には奨学金を全額肩代わりするというのはインパクトがあり、若者の居住者が増えれば費用対効果は大きいと思うが市長の考えを聞きたい。

市長 親の経済力によって学ぶ機会とチャンスを失うということとは、あつてはならないことだと思ふ。この制度を活用して地域の活力にかえていくというのは良い発想だと思ふので、精査したうえで良い方向を探していきたい。

鎌田議員 こういったことをやらないう限りは、地元に住んでもらうことができないのではないかと思ふ。また、企業においても社員に代わって奨学金を

返還する仕組みが導入されており、最近の人材不足の深刻さもあつて、実施する企業が増えている。この制度を市内の企業に勧めてみてはどうか。

商工観光課長 企業合同就職説明会の参加人数も減っており、企業も大変困つていると聞いている。今の制度を周知し、活用してもらおうように進めていきたいと思ふ。

鎌田議員 企業もこの制度を人材確保に活用してほしいと思ふ。既に32府県で仕組みが設けられているが、福岡県はやっていないので働きかける予定にしている。また、私の提案だが、会社負担の2分の1を市が負担をするというの、かなり市の負担は押さえられる。そして豊前市に奨学金を借りて、10年以上住めば企業と市が全額肩代わりするといった、若い人が豊前に住んでもらえるような他所にないような制度の創設を考えていただきたいと思ふ。

豊前市カラス天狗祭り参加



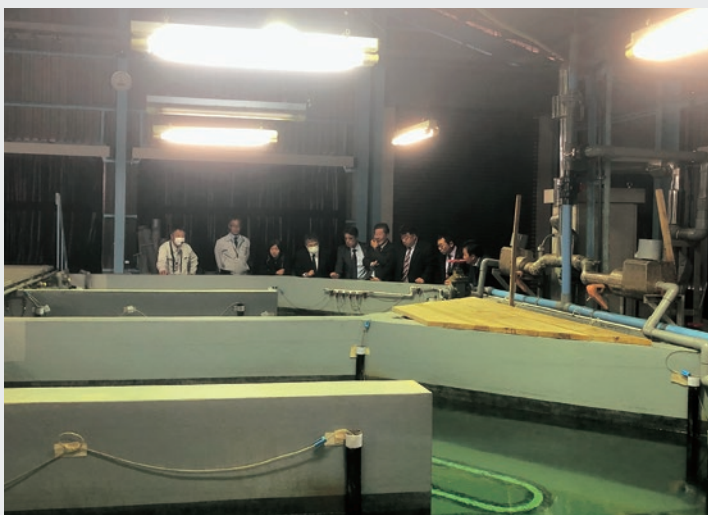
カラス天狗祭りの式典の様子

令和5年10月28日、フレスポくぼてんタウンにて開催された第31回豊前市カラス天狗祭りに、東日本大震災発生後から漁船寄付による支援や夏祭り参加などで交流のある宮城県東松島市議会議長及び職員の皆さんに参加していただきました。

東松島市のブースでは、海苔・牛タン・つくねなどの特産品を販売し大盛況でした。

また、今年の祭りは通常通りの開催となり、ステージイベントや物産等を楽しむ人で賑わいました。

産業建設委員会視察研修



広島市水産振興センター養殖施設の様子

産業建設委員会は、令和5年11月24日～25日の日程で視察研修を行いました。

広島市水産振興センターでは、センターの業務内容や広島かきの様々な養殖方法・出荷方法について説明を受け、意見交換を行いました。また、養殖施設や魚と漁業の資料展示室を見学しました。

広島市豪雨災害伝承館では、平成26年8月に安佐南区で発生した豪雨災害の概要や現状の防災対策について説明を受け、意見交換を行いました。その後、被災跡地を視察し、土石流による災害の恐ろしさを感じました。

編集後記

「光陰矢の如し」でお正月から早1ヶ月が過ぎようとしています。

目まぐるしく変わる社会の中で振り回されている方も多いのではないのでしょうか？

社会、地域の繋がりが希薄になった今だからこそ、この繋がりが増々、必要となってきたように感じます。

子育て世代や将来を背負っていく子ども達の未来のため、自分の事だけに捉われず、社会参加をお願い致します。

令和6年が明るい年になりますように、市民の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

郡司掛 八千代

次回の定例市議会は
2月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
みなさんの傍聴をお待ちしています。
また、本会議については、インターネット中継をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸兎
副委員長：為藤直美
委員：村上勝二 郡司掛八千代
秋成英人

- 印刷 築上印刷有限公司